

予算委員会

中国友好都市交流事業について

7月初旬の市長と議長の中国訪問について、今回の目的と日程に関しての説明がありました。今回の中国訪問の目的は

①観光振興ビジョンの中でもうたわれている東アジア(中国特に洛陽市と浙江省)からの観光誘客に向けた調査。
②過去に交流実績があった洛陽市との交流の復活。

③県と浙江省の間で行われている※千校結好事業の対象校と交流の判断に向けた事前調査の3点が挙げられました。日程については、河南省洛陽市から浙江省杭州市・麗水市そして福井県上海事務所を表敬訪問および視察を行うとのことでした。

議会では、「越前大仏との関係で過去にいろいろな経緯があったが、交流を復活させて大丈夫か。」「洛陽市と交流するのはいいことだが、長続きする交流を。」「勝山の現状をしっかりと伝えて交流を始めて欲しい。」「門前町をしっかりと復活をさせる等して徐々に観光誘客の足場を固めていって欲しい。」などの意見が出され、今後の事業について、

て、将来のビジョンをしっかりと持ち進めていくよう求めました。

※千校結好事業
福井県と友好提携している浙江省の小・中・高等学校と、省外の学校との間で1000組の友好交流協定を締結し、交流の推進や互いの文化の理解、相互学習の促進等を図る事業

恐竜モニュメント設置について

恐竜博物館の来場者・観光客をまちなかへ誘客する目的で、元祿線の「恐竜モニュメント通り」に、現在ある8体の恐竜モニュメントに加えて、新たに大きな恐竜像を設置する計画です。この予算のうち1,000万は県の補助金、500万が市の一般財源からの支出となります。昨年度、市は「ダイナソーカードを集めよう」というまちなか



誘客イベントを行いました。これが予想以上の反応があった経緯を踏まえ、電車に乗って来る観光客を迎える目玉になるような大きな恐竜モニュメントが欲しいという要望もあり、今回の企画になったものです。予算委員会では、設置場所については、議会の同意を得るよう意見を付しました。

コミュニティ助成について

コミュニティ助成は集会施設やコミュニティ活動備品の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するものです。今回の補正予算では、松田区の集落センター建設への助成、大袋区・北野津又区への除雪機等の購入への助成が計上されました。

奥越明成高校バス通学費補助金制度について

今年の7月から、勝山市から奥越明成高校に通学する京福バス利用の生徒に対して、勝山市

は通学費の一部を補助することになりました。

県立高校再編により奥越明成高校に進学し、通学にバスを利用する生徒に補助を行い、高校再編による負担の軽減を図ることを目的としています。

○補助対象

勝山市から奥越明成高校にバス通学する生徒

○補助率

バス利用区間の回数券または通学定期券定価の10% (10円未満切り上げ)

○実施時期

平成24年7月1日から

○実施方法

①回数券または通学定期券購入時に、委任状を京福バス大野営業所へ提出

②京福バスは、回数券または通学定期券を10%引きで販売し、

10%分を勝山市に請求

※平成23年4月～平成24年6月の通学定期券購入者も対象。対象者は申請書を勝山市に提出する。市は通学定期券購入実績の確認後、申請者に直接支払う。

なお、周知方法については、奥越明成高校に依頼し、対象生徒へ直接周知するとしています。